

# 生活のきまり

福山市立加茂小学校

● 人の心や体を傷つけるようなことはしません。いじめは絶対にしません。

● 良いこと・悪いことをしっかり考えて、良いと思うことをすすんで行いましょう。

## 服装について

規定服（全児童共通）		※夏服移行期間 5月～	冬服移行期間 10月～
夏	○白の半袖ブラウス、カッターシャツ、またはポロシャツ ○紺の半ズボン、つりスカート		
冬	○ブレザー ○白の長袖ブラウス、カッターシャツ、またはポロシャツ ○紺のズボン、つりスカート ※厚手の上着、セーター、ベスト、長ズボン、タイツなどの防寒着を着てもよいです。 ※マフラー や ネックウォーマー、手袋などの防寒具を着用してもよいです。 ※活動内容や場に合わせて、安全面や身だしなみを考え、着脱しましょう。		

### 体操服

- 半袖トレーニングシャツ（白）、長袖トレーニングシャツ（白）、ハーフパンツ（青）
  - ※ 寒いときは、防寒着を着てもよいです。
  - ※ 安全に運動ができるサイズ（袖が長すぎない、裾がハーフパンツに入るなど）にしましょう。
- 帽子は、赤白帽子（校章付、ゴム紐付）を着用しましょう。
- 靴は、はきやすくて走りやすい運動靴にしましょう。 ※雨天時は長靴でもよいです。
- 校内では、胸にネームをつけましょう。 ※新1年生は、色別ネームを使用します。
- 登下校は、規定服・赤白帽子を着用しましょう。（暑いときは、体操服でもよいです）
- どの服装のときでも、身だしなみはととのえましょう。
- 靴や靴下、肌着などの色は、白・黒・紺を基調とするなど、派手にならないようにしましょう。（厚手の上着の色は問いません）
- 寒いときは、ざぶとんやひざかけなどを教室で使ってもよいです。

## 持ち物について

- ① 学習に使わないものは、持ってきません。
- ② 筆箱の中は、えんぴつ 5～6本（2B、B、HBなど）、消しゴム1こ、赤えんぴつか赤ボールペン1本、名前ペン、ものさし1本（折りたたみ式のものは持てこないようにしましょう）、学年で必要なものとします。
- ③ タブレットは、家で充電したものを持ってきて、大切に、正しくあつかいましょう。
- ④ 持ち物には、よく分かるように名前を書きましょう。
- ⑤ 持ち物は、ランドセルなどに入れて持ってきましょう。  
(暑いときは、リュックなどでもよいです。)

## 校内生活について

- ① 時計を見て、時間を守って行動しましょう。
- ② 雨の日は遊び方を工夫して、教室で、落ち着いてすごしましょう。
- ③ 危険な場所や人目につかない場所（南校舎玄関の前、給食室のまわり、西校舎や東校舎のうら、プールの西側、体育館のまわりなど）では、遊びません。
- ③ ろうか・階段・おどり場では、遊びません。右側を落ち着いて、歩きましょう。
- ⑤ シューズで屋外に出たりくつで屋内に入ったりせず、上履きと下履きの区別をつけて校舎内をきれいに保ちましょう。
- ⑥ 下校時間までは、勝手に校外に出ず、校内で過ごしましょう。
- ⑦ 下校後に用事があるときや忘れ物などを取りに来たときは、かならず職員室の先生に言ってから教室に入ります。帰る時にもかならず職員室の先生に伝えましょう。

## 登下校について

- ① 交通ルールを守り、道路の右側（場所によっては左側）を1列（場所によっては2列）で歩きましょう。 ※ 歩道や路側帯がある場所は、車道側に出ません。
- ② 登校班長、副班長と協力し、みんな仲良く安全に登校できるようにしましょう。
- ③ 登校は、午前7時50分～8時10分の間で着くことができるようになります。
- ④ 下校は、なるべく2人以上で、通学路を守り、寄り道などをせず、できるだけ早く帰りましょう。

## 校外生活について

- ① 子どもだけで外出するときは、かならず、「行き先」と「帰る時刻」を大人に伝えてから出ましょう。
- ② 4月～9月は午後6時、10月～3月は午後5時までに家に帰っているようにしましょう。
- ③ 加茂小学校区の外には、子どもだけで勝手に出ず、かならず保護者の方と一緒に出かけましょう。
- ④ 飲食店や商店、ゲームセンターなどへは、子どもだけで行かず、保護者の方と行きましょう。
- ⑤ 自転車に乗る時は、命を守るために、かならずヘルメットを着用しましょう。
- ⑥ 危険なもの（火がつく物、刃物など）や、危険な場所（池、川、工事現場など）では遊びません。
- ⑦ 他人の土地（庭、田畠、駐車場など）に勝手に入ったり、他人の家のものを勝手にさわったりしません。地域での落書きも、絶対にしません。
- ⑧ おごりあい、お金や物品の貸し借り・交換をせず、金品を大切にしましょう。
- ⑨ 店の前や道路での買い物、立ち食いはせず、おやつなどは家で食べましょう。
- ⑩ タブレットやスマートフォンなどの使い方について、家族でルールを決めて、守りましょう。